

20090

炭酸ガス注入器と専用回路で作成した炭酸ガス造影システムの開発

造影剤を用いた血管造影は描写能に優れているが、腎機能低下患者やヨードアレルギーを持つ患者には重篤な副作用を招いてしまう。EVT が近年増加している中で、炭酸ガス造影は無毒で安全であることから、造影剤の使用を抑えたい患者に対しての使用が増加傾向にある。当施設では炭酸ガス造影を行うにあたり、以前は手術室から大きな気腹装置や CABG で使用する CO₂ ブロア用の炭酸ガスポンベを持ち出すなどの準備が必要であった。急な炭酸ガス造影に対応するため、簡便性、省スペース化を考慮し、心カテ室専用として炭酸ガス注入器:ガスターを導入した。炭酸ガスを実際に造影に使う際は、三連コックよりシリンジの着脱操作が必要であり、不潔エリアへの移動も問題となった。そこでシリンジを外さずにスムーズな炭酸ガス造影が行えるように専用回路を作成した。簡便な回路構成である専用システムが出来たことで、術野・外回りともに手技が容易になり、急な炭酸ガス造影にも即座に対応可能となった。今回は当システムについて報告する。